

慶應義塾大学 シラバス・時間割

体育学講義Ⅱ（スポーツ進化論）

サブタイトル	スポーツ進化論
担当者名	村山 光義
単位	2
年度・学期	2025 秋
曜日時限	火3
キャンパス	日吉
教室	体育研究所講義室
授業実施形態	対面授業（主として対面授業）
登録番号	08395
設置学部・研究科	体育研究所
学年	1, 2, 3, 4
評語タイプ	S, A, B, C, D
科目概要	体育学講義では、健康と身体運動、トレーニングやコーチングに関わる基礎理論の学修のほかにスポーツの文化的側面の考察など、多様な視点から体育・スポーツ科学を学ぶことができます。
K-Number	IPE-CO-00209-211-59

[▼ 詳細](#)

授業科目の内容・目的・方法・到達目標

本講義はスポーツの未来について考えるものです。世界各国にはマイナーであっても伝統的な国技のようなスポーツが多く存在し、その地域で熱狂的行われているものもあります。一方、新たなスポーツとして「e-Sports」が話題を集めたり、「障がい者のためのスポーツ」、スポーツ嫌いでも楽しめることをコンセプトにした「ゆるスポーツ」、テクノロジーを駆使する「超人スポーツ」等、Playerの多様化に応じたスポーツの創造がなされています。本講義は、過去から未来へ進化する様々なスポーツを紹介しながら、人類とスポーツの関係、スポーツ文化の行方について解説することを目的としています。そして、この人類の挑戦の未来について共に考えたいと思います。

能動的学修形式 [説明](#)

プレゼンテーション
ディスカッション、ディベート
グループワーク
反転授業

準備学修（予習・復習等）

参考資料の参照および映像資料の視聴（e-learning）による予習・復習。事前学習によってディスカッションなどを行う反転授業の準備を含む。

授業の計画

第1回

スポーツの枠組みを考える PlayからCompetitionまで

第2回

世界の伝統スポーツ 1

第3回

世界の伝統スポーツ 2

第4回

オリンピックの歴史と未来 1

第5回

オリンピックの歴史と未来2

第6回

パラリンピックの歴史と未来

第7回

障がい者スポーツを考える

第8回

「e-Sports」の登場

第9回

テクノロジーによるスポーツの変化 1

第10回

テクノロジーによるスポーツの変化 2

第11回

レクリエーショナルスポーツの拡大

第12回

スポーツとダイバーシティ・インクルージョン

第13回

スポーツの未来：ライフスタイルスポーツを例に

第14回

スポーツの未来：人間の身体知との関係

その他

参考資料の参照および映像資料の視聴（e-learning）による予習・復習。事前学習によってディスカッションなどを行う反転授業の準備を含む。

成績評価方法

授業内容の確認および考察のためのレポート4回(80%)と平常点（授業参加の積極性など）(20%)による。

テキスト（教科書）

特になし

参考書

授業の中で紹介します

担当教員から履修者へのコメント

授業では映像等も用いて、多様なスポーツを紹介するとともにスポーツの未来について考えたいと思います。体育会系・人文系に限らず、新たなスポーツの見方を持ち、その価値を感じてほしいと思います。

【今後の新型コロナウイルス感染症の動向等によっては、大学の対応に準じて授業形態および成績評価方法を変更する可能性があります。尚、変更を行う場合にはCanvasにてお知らせします。】

質問・相談

講義の前後に随時受け付けます。あるいは、murayama@keio.jp で随時受け付けます。